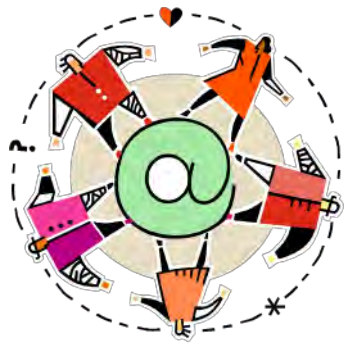


NAGANO ピアサポだより



第20号

発行年月日：2019年2月3日（月）

発行：長野県ピアサポートネットワーク

事務局：長野県長野市若里7-1-7

長野県社会福祉総合センター2階NPO法人ポプラの会事務局内

発行責任者：代表 大堀 尚美

Tel: 026-228-3344 Fax: 026-224-3777

アドレス：nagano.peer-support@kind.ocn.ne.jp

人生の目標

代表 大堀 尚美

最近、心理学や認知行動学についての講義を聴いています。人の心の奥には、人を嫉む気持ちがあり、様々な感情の中で一番厄介な感情だそうです。幸運、幸福に見える人がちょっとした失敗をすると喜ぶ性質があり、それをシャープフロイドと言うそうです。「他人の不幸は蜜の味」と昔から言われていました。あるあるです。心の底から人の幸せを願い行動出来るにはどうしたら良いのだろうと悩みます。例えば自分が人にされたことで傷付いても、本当の誇りとは傷付きにくいものでは無いでしょうか。自分がどう見えるのか、どう評価されるのではなく「自分自身が何を思い考えどう行動するか」「どれだけ人の為に尽くせるのか」という「物差し」を大切にしていきたいと思います。

精神障がいがあっても、病気をしても高齢になっても、尊厳保って暮らしていきたいと思います。

今後も当事者会で「皆の利益に少しでも寄与できるように」一層努力し、働くことが私も人生の目標です。

平成30年度長野県ピアサポートネットワーク 総会・交流会が開かれました

平成30年4月21日（土）、松本市中央公民館Mウィング3階会議室にて、定期総会が行われました。総会では、大堀尚美代表が「私たちのニーズは私たちにこそわかる、生活者としての視点を大切にしたい」との挨拶に続き、ご来賓の方々からご祝辞・メッセージをいただきました。長野県保健福祉部保健・疾病対策課 課長 西垣明子氏からは、「長野県が平成30年度より新たな総合五ヵ年計画を策定し、誰にも居場所があり、出番があるように、自らの可能性を広げ、自分らしく生きていかれることを目指していること、長野県ピアサポートネットワークの皆さまにも今後もその実現のためにもご活躍いただきたい」との激励のお言葉をいただきました。続いて、長野県精神保健福祉センター所長 小泉典章氏（代読）より、ピアサポートネットワークの活動に対する高い評価を、開催地松本市の健康福祉部障害福祉課 課長補佐 宮澤亘氏より「当たり前の生活を目指すためには、ピアサポートに対する支援を行うことも大切」とのご祝辞をいただきました。さらに、長野県精神科病院協会理事 桑村智氏、長野県精神保健福祉士協会理事 二宮美和氏、きょうされん長野支部支部長 山口須真子氏、特定非営利活動法人長野県精神保健福祉会連合会（NPOながのかれん）理事 草間博氏、せいしれん副会長 小澤孝二氏より、メッセージを頂戴いたしました。

引き続き、(株)さくら福社会代表の櫻井健太郎氏を議長に選出し、議案の審議に入りました。平成29年度事業報告、収支報告に続き、平成30年度事業計画、予算案について意見を求めたところ、満場一致にて承認されました。続いて役員体制について紹介があり、これも満場一致にて承認されました。（次ページへ）

長野県保健・疾病対策課課長
西垣明子氏

大堀尚美代表より
議案説明

交流会

総会・交流会を終えて

